



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場会社名 株式会社ダイセル
コード番号 4202 URL <http://www.daicel.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー
四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

(氏名) 札幌 操
(氏名) 廣川 正彦

TEL 03-6711-8121

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	108,505	14.4	12,501	60.6	12,704	39.7	9,156	42.8
26年3月期第1四半期	94,879	7.8	7,782	19.3	9,092	37.4	6,410	68.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 10,693百万円 (△17.6%) 26年3月期第1四半期 12,979百万円 (383.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	26.06	—
26年3月期第1四半期	18.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	510,385	303,750	54.4	789.83
26年3月期	509,834	295,805	52.7	764.51

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 277,506百万円 26年3月期 268,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	213,000	8.1	20,000	13.7	20,500	6.7	12,000	△1.2	34.15
通期	432,000	4.4	41,000	8.1	42,000	1.4	24,000	5.1	68.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	364,942,682 株	26年3月期	364,942,682 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	13,595,281 株	26年3月期	13,590,663 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	351,350,025 株	26年3月期1Q	351,713,664 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加など、景気の緩やかな回復が続きました。しかし、消費税増税前の駆け込み需要の反動や、海外景気の下振れリスクなど、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、1,085億5百万円（前年同期比14.4%増）となりました。利益面では、販売数量の増加などにより、営業利益は125億1百万円（前年同期比60.6%増）、経常利益は127億4百万円（前年同期比39.7%増）、四半期純利益は91億56百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途は減少しましたが、たばこフィルター用途が増加し、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、海外向け販売が好調に推移したことや、当連結会計年度は網干工場の2年に1度の定期修繕を実施しない年であったことなどにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、248億36百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は、64億14百万円（前年同期比49.5%増）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、酢酸ビニル向けなどの販売が好調に推移したことや、当連結会計年度は網干工場の2年に1度の定期修繕を実施しない年であったこと、販売価格の是正により、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、塗料用途などの販売数量が減少しましたが、電子材料分野などへの販売数量が増加したことや販売価格の是正により、売上高は増加いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などの機能品は、海外向けの販売が好調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、中国やインド向けなどのカラム販売が好調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、226億71百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は、20億67百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックの事業を行っているポリプラスチック株式会社グループは、当連結会計年度より決算期を12月から3月に変更しております。当第1四半期（4～6月）においては、前年第1四半期（1～3月）と比して、海外での自動車販売が中国・米国・欧州に牽引されて好調に推移したことや為替の影響により、売上高は増加いたしました。

ABS樹脂、エンブレアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、住宅設備分野向けなどの販売が堅調に推移したものの、自動車分野向けが消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響を受けたことにより、売上高は横這いとなりました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、食品向けなどのフィルムの販売が好調に推移したものの、成形容器や高発泡プラスチック製品の販売が減少し、売上高は横這いとなりました。

当部門の売上高は、406億59百万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は、40億40百万円（前年同期比87.0%増）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生器）などの自動車安全部品事業は、国内で消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響を受けたものの、前年同期比では中国をはじめ、国内やタイなどでの販売数量増加により、売上高は増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、192億32百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は、24億38百万円（前年同期比24.3%増）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、下水道分野向けが堅調に推移しましたが、排水分野向けなどが低調に推移し、売上高は減少いたしました。

運輸倉庫業など、その他の事業の売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、11億6百万円（前年同期比6.7%減）、利益面では、営業損失81百万円（前年同期は営業損失1億13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などがありましたが、たな卸資産、投資有価証券の増加などにより前連結会計年度末に比し5億51百万円増加し5,103億85百万円となりました。

負債は、未払法人税等、長期借入金の減少などにより前連結会計年度末に比し73億95百万円減少し、2,066億34百万円となりました。

また純資産は、3,037億50百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,775億6百万円となり自己資本比率は54.4%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であったポリプラスチックス㈱他15社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

また、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であるPolyplastics Trading (Shanghai) Ltd.他3社、並びに持分法適用の関連会社で決算日が12月31日であるXi'an Huida Chemical Industries Co., Ltd.他1社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、当第1四半期連結会計期間より連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が2,193百万円減少、投資その他の資産のその他が1,379百万円増加、固定負債のその他が1,374百万円増加、少数株主持分が129百万円減少、利益剰余金が2,328百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ38百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,533	41,582
受取手形及び売掛金	85,567	82,682
有価証券	21,667	25,460
たな卸資産	89,832	93,402
その他	17,614	17,793
貸倒引当金	△168	△204
流動資産合計	261,046	260,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,853	49,971
機械装置及び運搬具(純額)	55,139	66,282
土地	26,811	26,782
建設仮勘定	24,532	10,196
その他(純額)	2,700	2,733
有形固定資産合計	157,038	155,965
無形固定資産		
のれん	5,298	4,847
その他	8,324	7,966
無形固定資産合計	13,623	12,813
投資その他の資産		
投資有価証券	60,070	62,378
その他	18,276	18,671
貸倒引当金	△219	△162
投資その他の資産合計	78,127	80,887
固定資産合計	248,788	249,667
資産合計	509,834	510,385
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,936	52,379
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	14,553	14,436
1年内返済予定の長期借入金	9,651	13,846
未払法人税等	5,395	2,087
修繕引当金	124	1,357
その他	20,233	21,787
流動負債合計	115,894	115,893
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	41,630	34,933
役員退職慰労引当金	91	97
修繕引当金	1,085	271
退職給付に係る負債	15,995	13,708
資産除去債務	1,098	1,092
その他	8,233	10,637
固定負債合計	98,134	90,740
負債合計	214,029	206,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	183,199	192,193
自己株式	△6,349	△6,353
株主資本合計	244,704	253,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,517	22,276
繰延ヘッジ損益	79	2
為替換算調整勘定	5,374	3,536
退職給付に係る調整累計額	△2,063	△2,004
その他の包括利益累計額合計	23,907	23,812
少数株主持分	27,193	26,244
純資産合計	295,805	303,750
負債純資産合計	509,834	510,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	94,879	108,505
売上原価	72,404	80,818
売上総利益	22,475	27,686
販売費及び一般管理費	14,693	15,184
営業利益	7,782	12,501
営業外収益		
受取利息	98	94
受取配当金	535	595
持分法による投資利益	210	231
為替差益	705	—
その他	249	329
営業外収益合計	1,799	1,251
営業外費用		
支払利息	305	365
為替差損	—	520
その他	183	162
営業外費用合計	488	1,048
経常利益	9,092	12,704
特別利益		
固定資産処分益	252	342
投資有価証券売却益	1,923	—
補助金収入	—	500
特別利益合計	2,175	842
特別損失		
固定資産除却損	157	42
固定資産圧縮損	—	475
特別損失合計	157	517
税金等調整前四半期純利益	11,111	13,028
法人税、住民税及び事業税	2,229	2,974
過年度法人税等	—	△842
法人税等調整額	2,111	700
法人税等合計	4,341	2,833
少数株主損益調整前四半期純利益	6,770	10,195
少数株主利益	360	1,038
四半期純利益	6,410	9,156

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,770	10,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,249	1,794
繰延ヘッジ損益	142	△91
為替換算調整勘定	3,385	△1,169
退職給付に係る調整額	—	65
持分法適用会社に対する持分相当額	431	△100
その他の包括利益合計	6,209	498
四半期包括利益	12,979	10,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,142	9,802
少数株主に係る四半期包括利益	1,836	890

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	21,019	18,862	35,305	18,505	93,692	1,186	94,879	—	94,879
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	423	3,749	0	—	4,174	2,382	6,557	△6,557	—
計	21,443	22,612	35,306	18,505	97,867	3,569	101,436	△6,557	94,879
セグメント利益 又は損失(△)	4,289	1,690	2,160	1,962	10,103	△113	9,989	△2,207	7,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,207百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	24,836	22,671	40,659	19,232	107,399	1,106	108,505	—	108,505
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	756	4,468	0	—	5,226	2,465	7,691	△7,691	—
計	25,592	27,139	40,660	19,232	112,625	3,571	116,196	△7,691	108,505
セグメント利益 又は損失(△)	6,414	2,067	4,040	2,438	14,960	△81	14,878	△2,376	12,501

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,376百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。